

令和6年 12月 6日	
担 当 課 (担 当 者)	感染症対策センター (衛生環境研究所) (福田、最首)
電 話	0858-35-5411

鳥取県感染症流行情報

第48週 [令和6年11月25日(月)～12月1日(日)]

【お知らせ】

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。

○手足口病警報が発令中です。

＜主な定点把握対象感染症＞

疾 病 名	東 部	中 部	西 部
インフルエンザ	○	○	◎
感染性胃腸炎	◎	○	△
水痘(水ぼうそう)	○	×	×
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	×	◎	×
手足口病	★	★	★
ヘルパンギーナ(夏かぜ)	×	×	×
咽頭結膜熱	×	×	×
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	★	★	★
流行性角結膜炎	×	×	△
マイコプラズマ肺炎	○	◎	×
伝染性紅斑	△	×	◎
RSウイルス感染症	△	×	△

★ 警報発令中

◎ 流行している

△ 散発

○ やや流行している

× 患者発生極少又はなし

＜新型コロナウイルス感染症＞

地 区	東 部	中 部	西 部	合 計	全国(第48週)
患者数(人)	14	25	20	59	
定点当たり患者数	1.17	4.17	1.82	2.03	2.42
流行情報	—	—	—		

○注意レベル： 定点当たり 10 人/週 (今後の感染拡大に注意が必要と考えられる段階)

◎警戒レベル： 定点当たり 20 人/週 (感染者数の加速度的な増大のおそれがある段階)

【コメント】

- 1 インフルエンザは、中部及び西部地区で患者報告数が増加しています。特に中部地区では急増し注意報レベルを超えており、今後さらに流行が拡大するおそれがあるので注意が必要です。

- 2 新型コロナウイルス感染症は、中部及び西部地区で患者報告数が増加しており、今後さらに拡大するおそれがあるので注意が必要です。
- 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。全地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。引き続き注意が必要です。
- 4 手足口病警報が発令中です。引き続き注意が必要です。
- 5 伝染性紅斑は、西部地区で患者報告数が増加し流行しています。
- 6 感染性胃腸炎は、東部地区で患者報告数が増加し流行しています。
- 7 マイコプラズマ肺炎は、東部及び中部地区で患者報告数が増加し、中部地区で流行しています。全国的にも依然高い水準にあるので注意が必要です。
- 8 流行性耳下腺炎は、中部地区で患者報告がありました。
- 9 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20 件を目途に報告数が多い疾病）；
 - ・インフルエンザ（187 件）
 - ・感染性胃腸炎（103 件）
 - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（81 件）
 - ・新型コロナウイルス感染症（59 件）
 - ・手足口病（33 件）
 - ・伝染性紅斑（14 件）
 - ・マイコプラズマ肺炎（12 件）
 - ・流行性耳下腺炎（1 件）

病 名	特 徴	予防のポイント	
		個別事項	共通事項
インフルエンザ	38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身症状を特徴とするインフルエンザウイルスの感染によって起こる感染症です。 子ども、ご高齢の方、免疫力の低下している方は、重症化することがあります。	・マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。	・特に流行時には手洗いをしっかりしましょう。 ・症状があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を主症状とする新型コロナウイルスの感染によって起こる感染症です。 頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合もあります。 ご高齢の方、基礎疾患を持つ方は重症化するリスクがあります。	・手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用などに心がけ、特に高齢者と接する場合などは、体調を整えるようにしましょう。 ・重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。 ・感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、指示に従って受診しましょう。	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱と咽頭痛、発疹等の症状がみられる細菌による感染症です。まれに重症化することもあり、小児だけでなく成人でも発症します。	・マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。	

手足口病	口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性のウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行が見られます。	・流行時に手指の消毒を励行しましょう。 ・タオルなどは個人用としましょう。 ・排泄物の適切な処理を行いましょう。
伝染性紅斑	両方の頬にできる紅斑を主症状とするウイルスによる感染症です。重症化することはまれですが、妊婦が感染すると流産を起こすことがあります。	・妊娠中の場合はできるだけ感染者との接触を避けるようにしましょう。
感染性胃腸炎	嘔吐、腹痛、下痢を主症状とする細菌やウイルス（ノロウイルス、ロタウイルス等）によって起こる感染力が非常に強い感染症です。	・感染した人の便や吐物进行处理する場合には、必ずゴム手袋やマスクを着用しましょう。 ・便や吐物処理後の床、感染した人が触れた物などは、塩素系の消毒剤で消毒しましょう。
マイコプラズマ肺炎	「肺炎マイコプラズマ」によって起こる呼吸器感染症です。発熱や全身のだるさ、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は少し遅れて始まることもあり、熱が下がった後も3～4週間続くのが特徴です。	・タオルなどは個人用としましょう。 ・マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。
流行性耳下腺炎	強い感染力をもったムンプスウイルスによる感染症で、唾液腺（耳下腺など）の腫れ、圧痛、嚥下痛、発熱がみられます。	・集団生活に入る前にワクチンで予防しておくことが有効です。

※咳エチケット：咳、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ飛沫を飛ばさないようにすること

鳥取県感染症発生動向調査情報（週報）

第48週 [令和6年11月25日(月)～12月1日(日)]

(地区別)

令和6年12月6日 作成

(件)

		東 部		中 部		西 部		合 計			県内1定点当			全国1 定点当
		48週	前週比	48週	前週比	48週	前週比	48週	47週	前週比	48週	47週	48週	48週
インフルエンザ/COVID-19定点数		12		6		11		29						
1	インフルエンザ	34	87%	76	224%	77	151%	187	124	151%	6.45	4.28	4.86	
2	新型コロナウイルス感染症	14	93%	25	192%	20	125%	59	44	134%	2.03	1.52	2.42	
小児科定点数		8		4		7		19						
3	咽頭結膜熱	0	0%	0	0%	0	0%	0	5	0%	0.00	0.26	0.34	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	117%	15	136%	12	120%	81	67	121%	4.26	3.53	2.58	
5	感染性胃腸炎	62	141%	26	65%	15	79%	103	103	100%	5.42	5.42	3.85	
6	水痘	2	200%	0	—	0	0%	2	2	100%	0.11	0.11	0.28	
7	手足口病	14	108%	5	36%	14	117%	33	39	85%	1.74	2.05	2.75	
8	伝染性紅斑	2	200%	0	—	12	240%	14	6	233%	0.74	0.32	0.89	
9	突発性発疹	2	—	2	200%	4	400%	8	2	400%	0.42	0.11	0.28	
10	ヘルパンギーナ	0	0%	0	—	0	—	0	1	0%	0.00	0.05	0.06	
11	流行性耳下腺炎	0	—	1	—	0	—	1	0	—	0.05	0.00	0.03	
12	RSウイルス感染症	3	—	0	—	1	100%	4	1	400%	0.21	0.05	0.27	
眼科定点数		2		1		2		5						
13	急性出血性結膜炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.02	
14	流行性角結膜炎	0	0%	0	0%	1	—	1	5	20%	0.20	1.00	0.63	
基幹定点数		2		1		2		5						
15	細菌性髄膜炎	0	—	0	—	1	—	1	0	—	0.20	0.00	0.03	
16	無菌性髄膜炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.03	
17	マイコプラズマ肺炎	6	200%	6	200%	0	0%	12	8	150%	2.40	1.60	2.27	
18	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01	
19	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限定)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01	
合 計		193	129%	156	143%	157	151%	506	407	124%				

※中部の19の件数は、5の再掲(基幹定点が小児科定点と共通のため)。

第48週の感染症発生動向調査情報について

- インフルエンザは、中部及び西部地区で患者報告数が増加しています。特に中部地区では急増し注意報レベルを超えており、今後さらに流行が拡大するおそれがあるので注意が必要です。
- 新型コロナウイルス感染症は、中部及び西部地区で患者報告数が増加しており、今後さらに拡大するおそれがあるので注意が必要です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。全地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。引き続き注意が必要です。
- 手足口病警報が発令中です。引き続き注意が必要です。
- 伝染性紅斑は、西部地区で患者報告数が増加し流行しています。
- 感染性胃腸炎は、東部地区で患者報告数が増加し流行しています。
- マイコプラズマ肺炎は、東部及び中部地区で患者報告数が増加し、中部地区で流行しています。全国的にも依然高い水準にあるので注意が必要です。
- 流行性耳下腺炎は、中部地区で患者報告がありました。
- 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20件を目途に報告数が多い疾病）；
 - ・インフルエンザ（187件）
 - ・感染性胃腸炎（103件）
 - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（81件）
 - ・新型コロナウイルス感染症（59件）
 - ・手足口病（33件）
 - ・伝染性紅斑（14件）
 - ・マイコプラズマ肺炎（12件）
 - ・流行性耳下腺炎（1件）

週別患者報告数および定点当り患者数 (令和6年第40週 ~ 令和6年第48週)

区 分		今週 48週	47週	46週	45週	44週	43週	42週	41週	40週	令和6年 累計
1	インフルエンザ 1 定点当り患者報告数(件)	187 6.45	124 4.28	81 2.79	35 1.21	32 1.10	21 0.72	7 0.24	5 0.17	3 0.10	5,347 3.84
2	新型コロナウイルス感染症 1 定点当り患者報告数(件)	59 2.03	44 1.52	33 1.14	27 0.93	21 0.72	41 1.41	54 1.86	66 2.28	109 3.76	8,852 6.36
3	咽頭結膜熱 1 定点当り患者報告数(件)	0 0.00	5 0.26	5 0.26	5 0.26	7 0.37	10 0.53	6 0.32	2 0.11	9 0.47	780 0.86
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1 定点当り患者報告数(件)	81 4.26	67 3.53	70 3.68	74 3.89	79 4.16	58 3.05	74 3.89	108 5.68	101 5.32	5,786 6.34
5	感染性胃腸炎 1 定点当り患者報告数(件)	103 5.42	103 5.42	87 4.58	66 3.47	78 4.11	74 3.89	73 3.84	65 3.42	56 2.95	4,290 4.70
6	水痘 1 定点当り患者報告数(件)	2 0.11	2 0.11	2 0.11	0 0.00	1 0.05	0 0.00	1 0.05	1 0.05	0 0.00	114 0.13
7	手足口病 1 定点当り患者報告数(件)	33 1.74	39 2.05	36 1.89	61 3.21	94 4.95	118 6.21	111 5.84	187 9.84	153 8.05	2,630 2.88
8	伝染性紅斑 1 定点当り患者報告数(件)	14 0.74	6 0.32	8 0.42	2 0.11	4 0.21	4 0.21	1 0.05	2 0.11	4 0.21	56 0.06
9	突発性発疹 1 定点当り患者報告数(件)	8 0.42	2 0.11	0 0.00	5 0.26	5 0.26	5 0.26	6 0.32	1 0.05	1 0.05	194 0.21
10	ヘルパンギーナ 1 定点当り患者報告数(件)	0 0.00	1 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.05	2 0.11	3 0.16	4 0.21	401 0.44
11	流行性耳下腺炎 1 定点当り患者報告数(件)	1 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	16 0.02
12	RSウイルス感染症 1 定点当り患者報告数(件)	4 0.21	1 0.05	1 0.05	0 0.00	1 0.05	3 0.16	2 0.11	12 0.63	12 0.63	819 0.90
13	急性出血性結膜炎 1 定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.00
14	流行性角結膜炎 1 定点当り患者報告数(件)	1 0.20	5 1.00	3 0.60	3 0.60	2 0.40	2 0.40	1 0.20	0 0.00	2 0.40	59 0.25
15	細菌性髄膜炎 1 定点当り患者報告数(件)	1 0.20	0 0.00	1 0.20	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	11 0.05
16	無菌性髄膜炎 1 定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	1 0.20	2 0.40	0 0.00	0 0.00	1 0.20	1 0.20	1 0.20	24 0.10
17	マイコプラズマ肺炎 1 定点当り患者報告数(件)	12 2.40	8 1.60	12 2.40	12 2.40	5 1.00	3 0.60	4 0.80	4 0.80	5 1.00	72 0.30
18	クラミジア肺炎(オウム病を除く) 1 定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.00
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) 1 定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.20	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	15 0.06
合 計		447	363	307	266	308	299	289	391	351	20,616

注: 累計欄の定点当たり患者報告数は1 定点1 週当たり患者報告数。

年齢別内訳

第48週 [令和6年11月25日(月)～12月1日(日)]

疾 病 名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	0	0	4	1	6	11	6	4	9	7	6	19	5	3
定点当り発生割合(件)	4.26	0.00	0.00	0.21	0.05	0.32	0.58	0.32	0.21	0.47	0.37	0.32	1.00	0.26	0.16
感染性胃腸炎	103	3	2	8	13	13	11	16	10	5	6	7	9	0	0
定点当り発生割合(件)	5.42	0.16	0.11	0.42	0.68	0.68	0.58	0.84	0.53	0.26	0.32	0.37	0.47	0.00	0.00
水痘	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.11	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	33	0	1	5	6	6	7	4	1	1	2	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	1.74	0.00	0.05	0.26	0.32	0.32	0.37	0.21	0.05	0.05	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	14	0	0	0	1	2	1	2	3	1	1	1	2	0	0
定点当り発生割合(件)	0.74	0.00	0.00	0.00	0.05	0.11	0.05	0.11	0.16	0.05	0.05	0.05	0.11	0.00	0.00
突発性発疹	8	0	1	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.42	0.00	0.05	0.26	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス感染症	4	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.21	0.00	0.11	0.05	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※小児科定点数は19定点

年齢別内訳

第48週 [令和6年11月25日(月)～12月1日(日)]

疾 病 名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
インフルエンザ	187	2	1	6	6	5	5	10	10	15	17	11	36	11	3	14	10	8	2	2	13
	6.45	0.07	0.03	0.21	0.21	0.17	0.17	0.34	0.34	0.52	0.59	0.38	1.24	0.38	0.10	0.48	0.34	0.28	0.07	0.07	0.45
新型コロナウイルス感染症	59	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7	1	7	4	5	7	8	7	10
	2.03	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	0.03	0.24	0.14	0.17	0.24	0.28	0.24	0.34

※インフルエンザ/COVID-19定点数は29定點

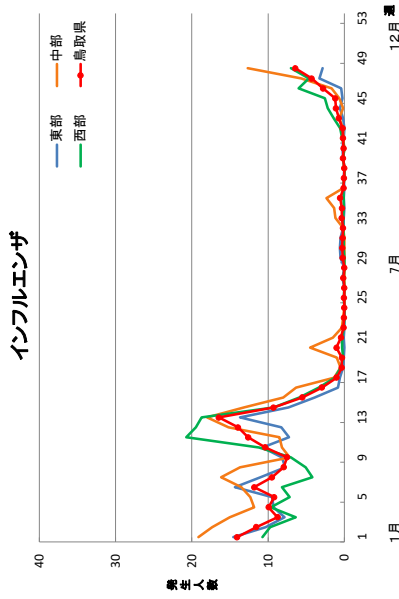
疾 病 名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00

※眼科定点数は5定點

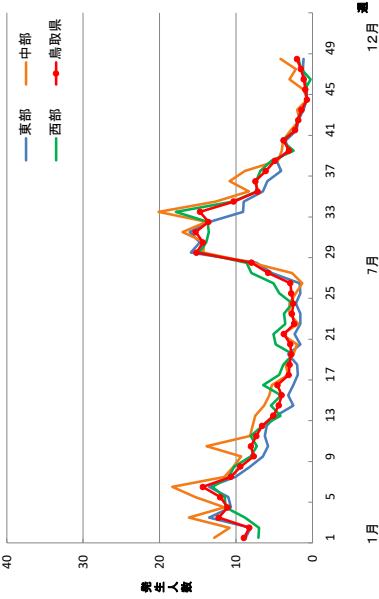
疾 病 名	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	12	1	1	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2.40	0.20	0.20	1.20	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※基幹定点数は5定點

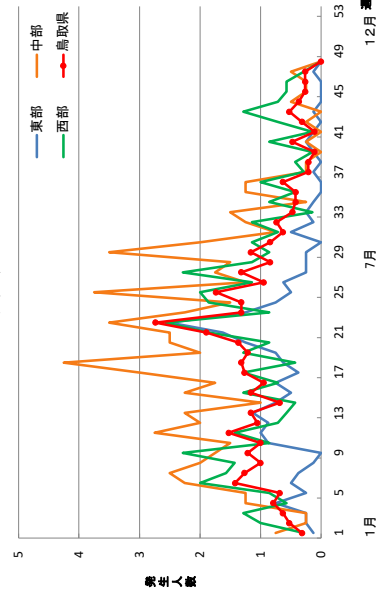
地区発生状況グラフ (定点当たり)



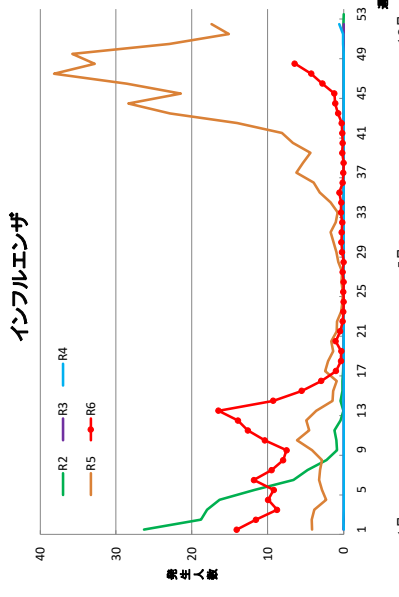
新型コロナウイルス感染症



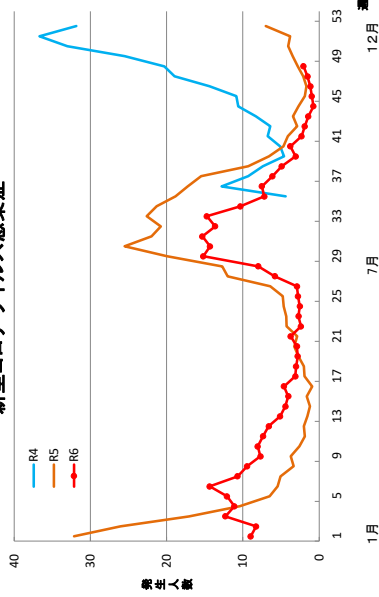
咽頭結膜熱



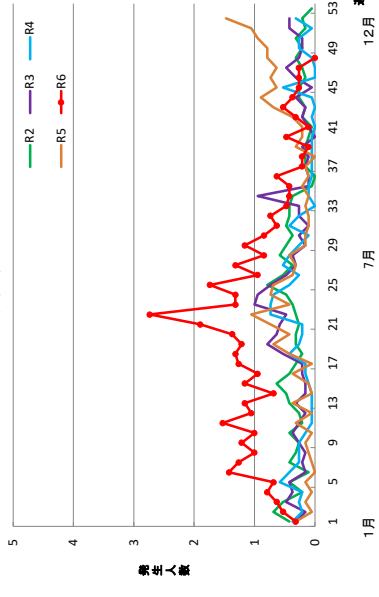
年次別発生状況グラフ (定点当たり)



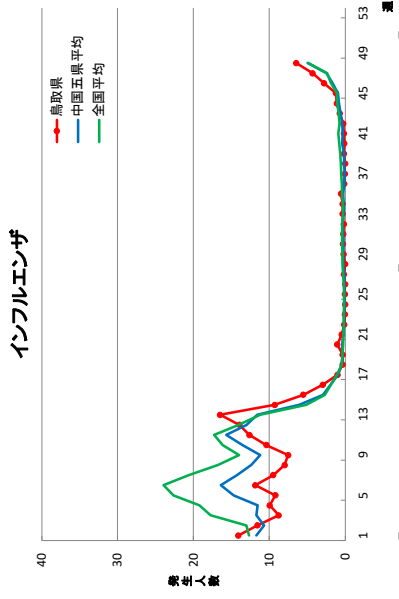
新型コロナウイルス感染症



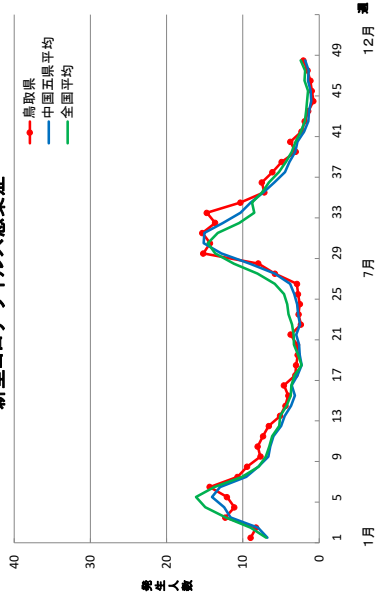
咽頭結膜熱



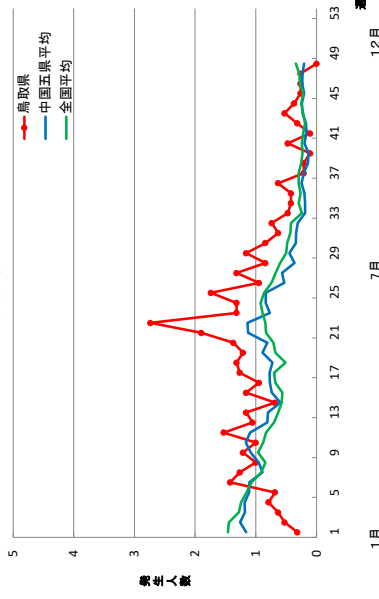
中国五県平均・全国平均との比較 (定点当たり)



新型コロナウイルス感染症

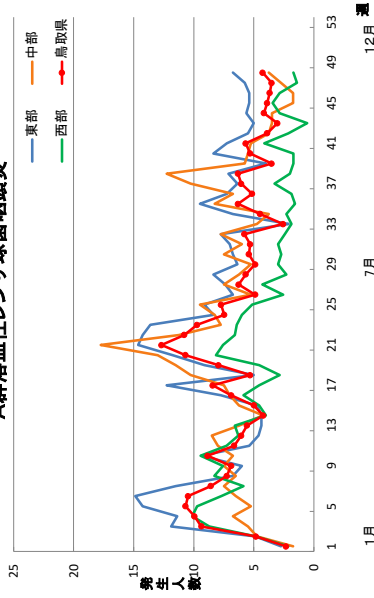


咽頭結膜熱

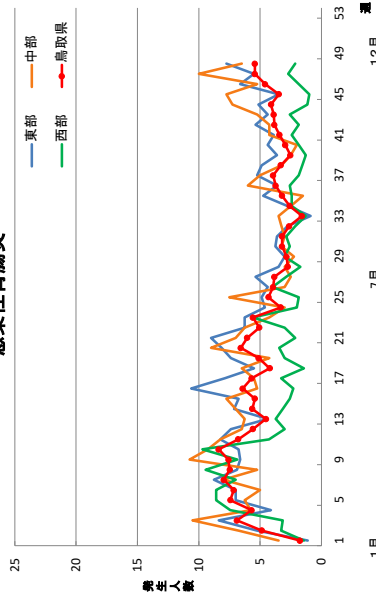


地区発生状況グラフ(定数当たり)

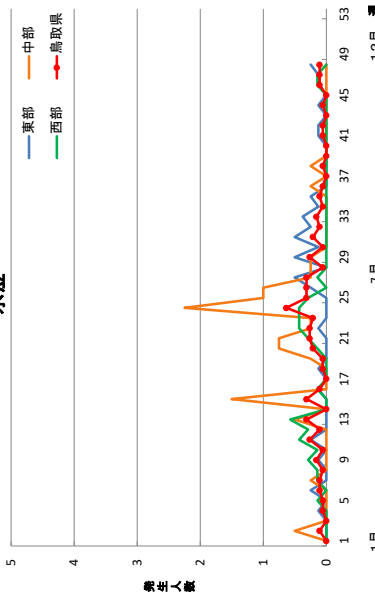
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

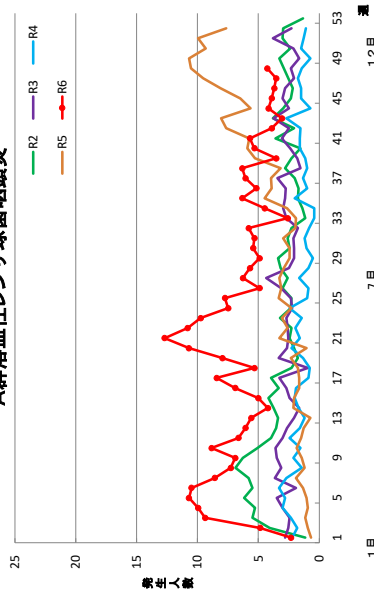


水痘

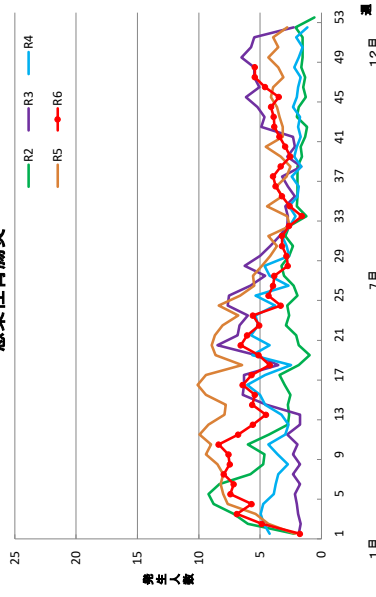


年次別発生状況グラフ(定数当たり)

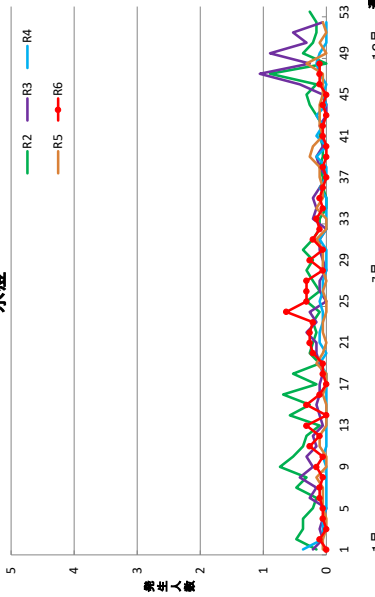
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

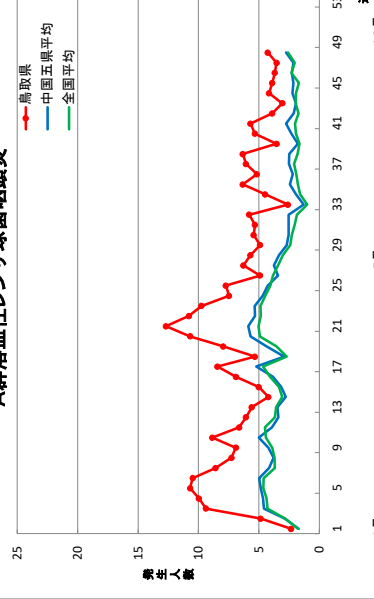


水痘

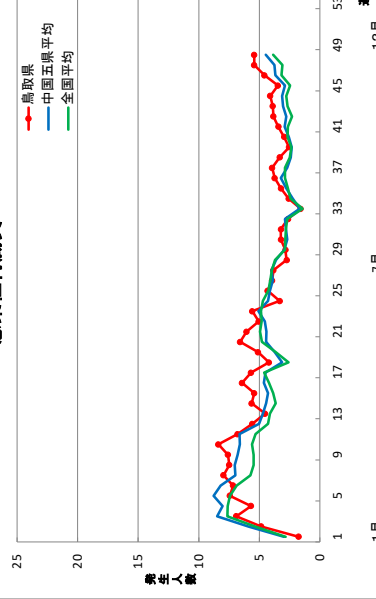


中国五県平均・全国平均との比較(定数当たり)

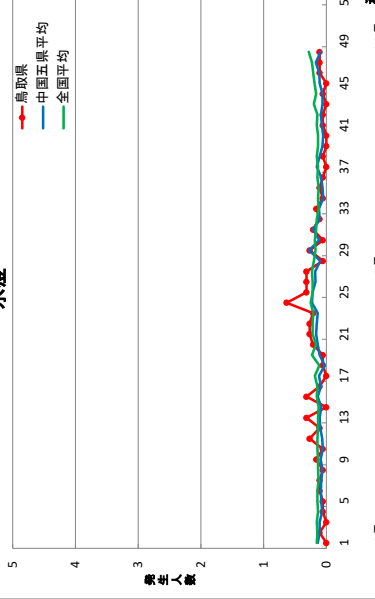
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



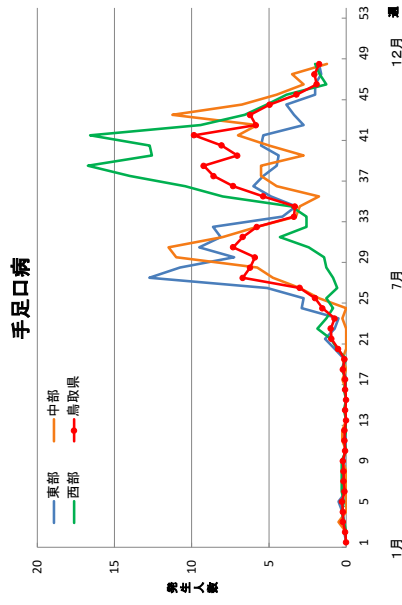
感染性胃腸炎



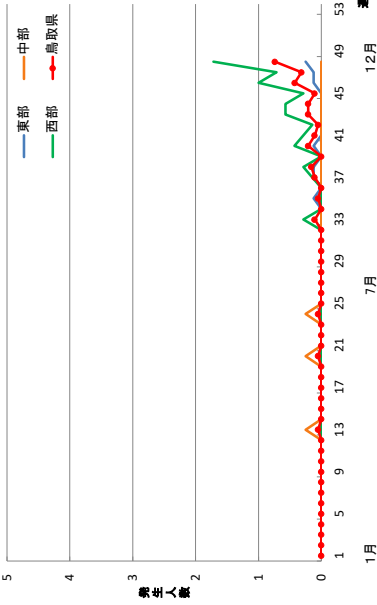
水痘



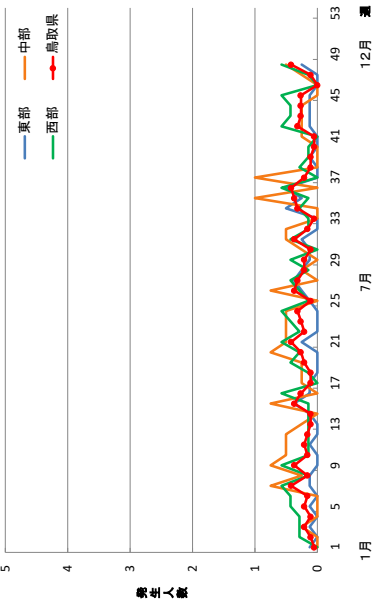
地区発生状況グラフ(定数当たり)



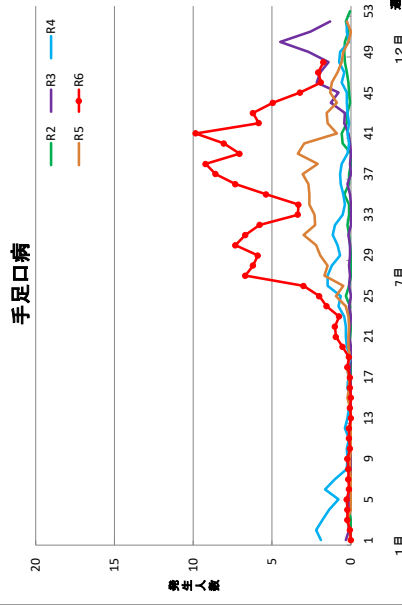
伝染性紅斑



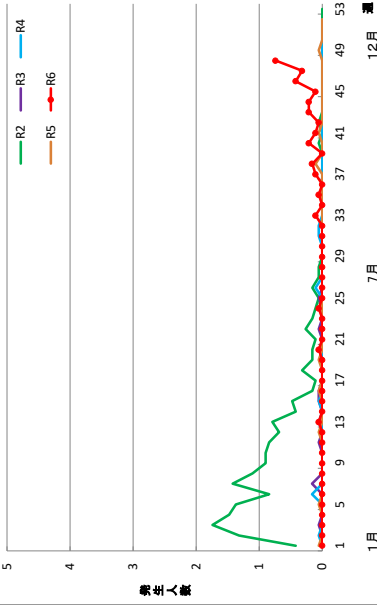
突発性発疹



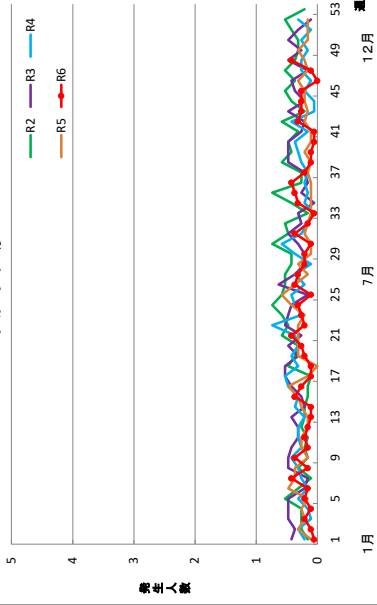
年次別発生状況グラフ(定数当たり)



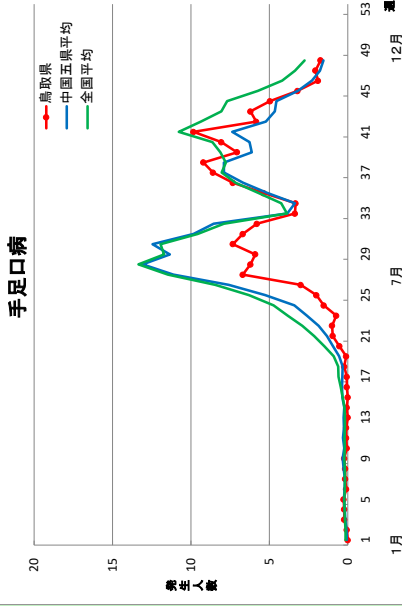
伝染性紅斑



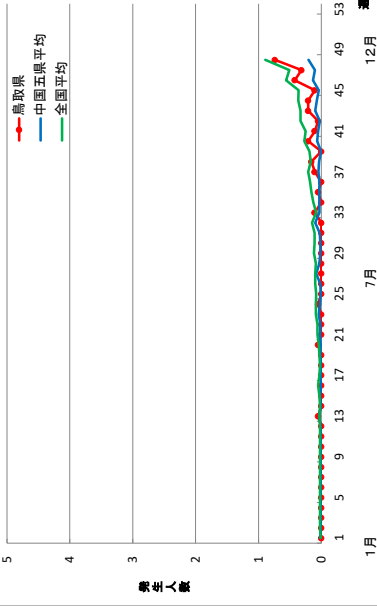
突発性発疹



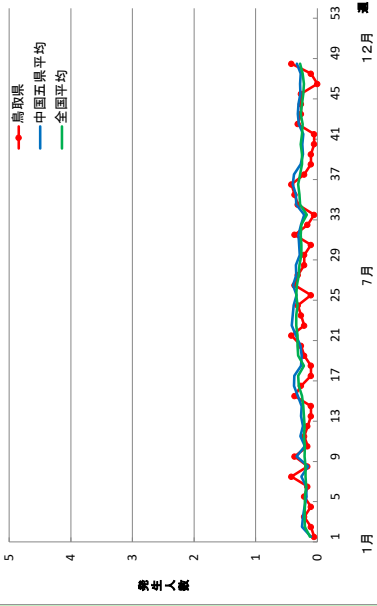
中国五県平均・全国平均との比較(定数当たり)



伝染性紅斑

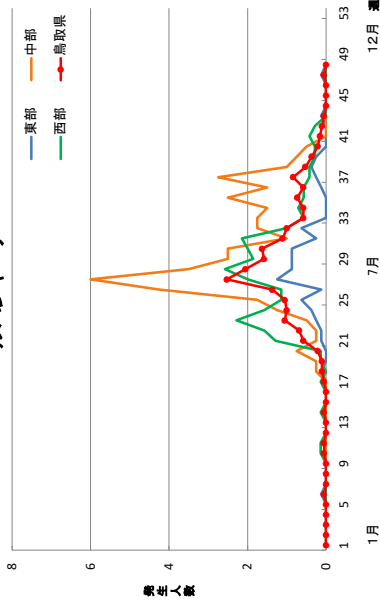


突発性発疹

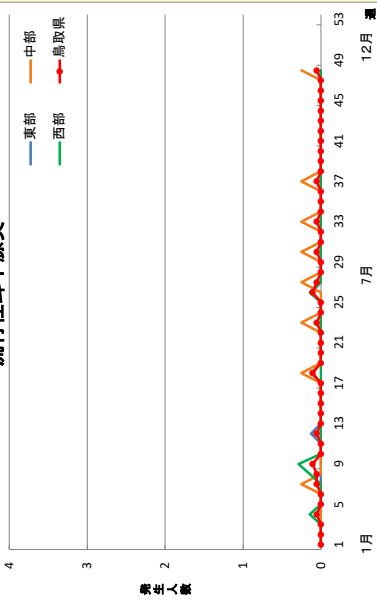


地区発生状況グラフ(定数当たり)

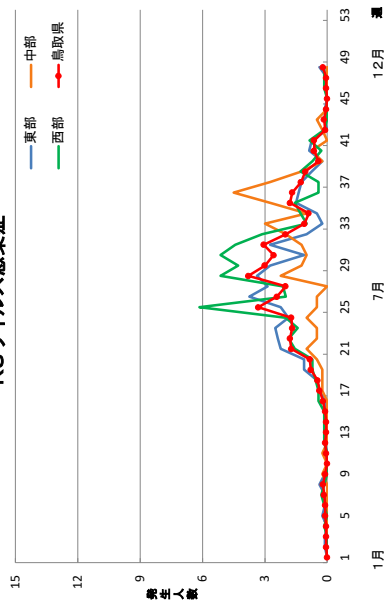
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

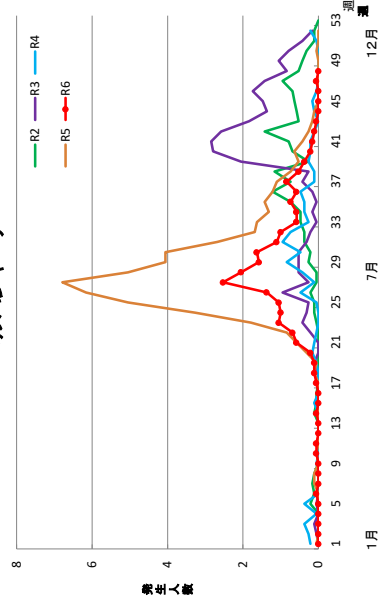


RSウイルス感染症

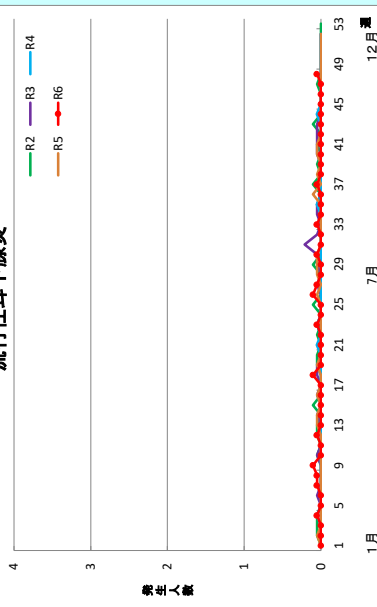


年次別発生状況グラフ(定数当たり)

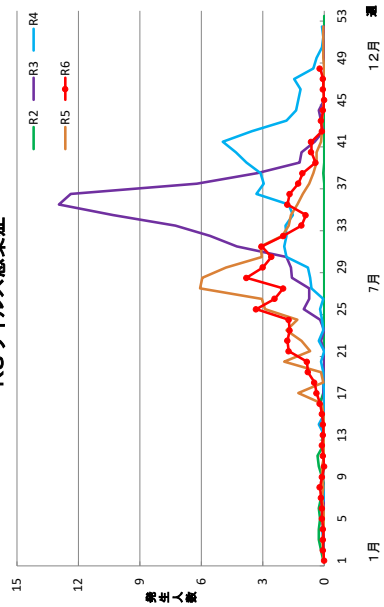
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

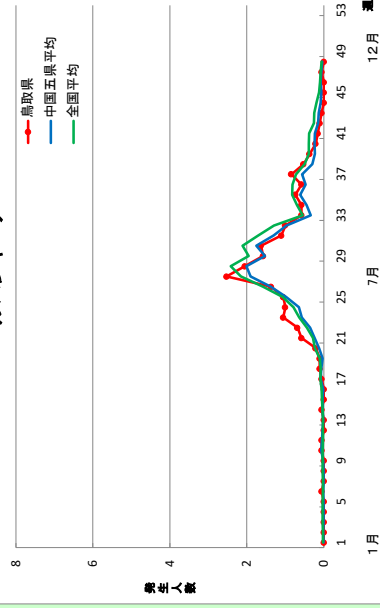


RSウイルス感染症

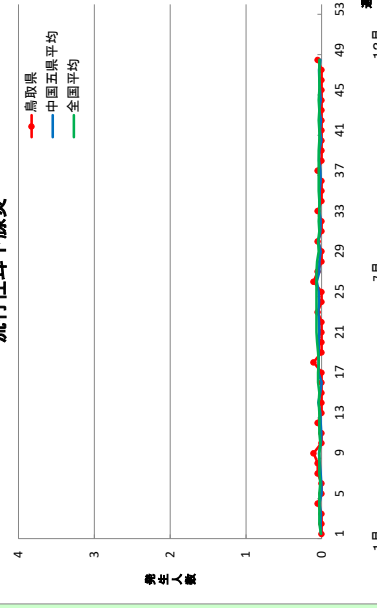


中国五県平均・全国平均との比較(定数当たり)

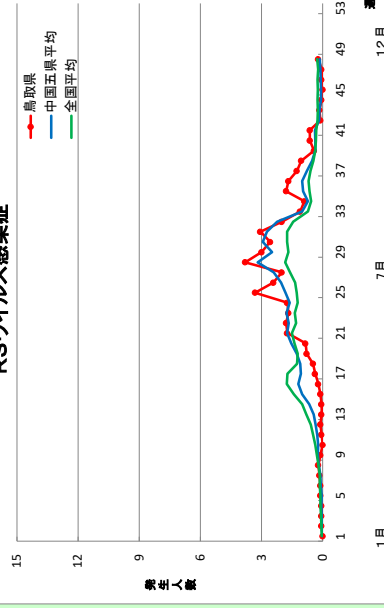
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

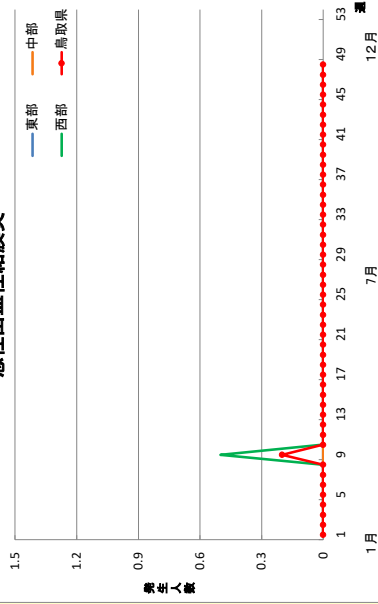


RSウイルス感染症

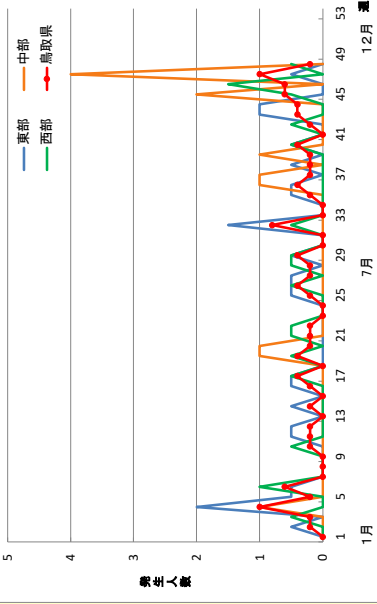


地区発生状況グラフ(定数当たり)

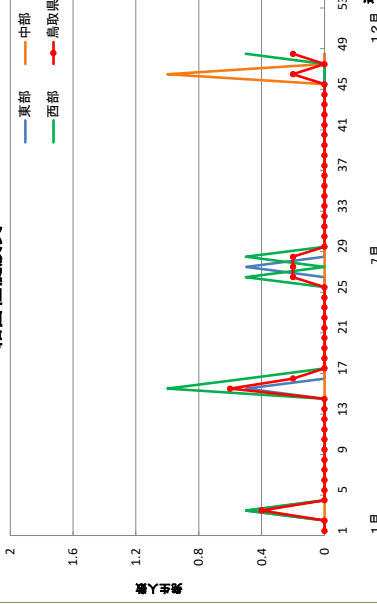
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

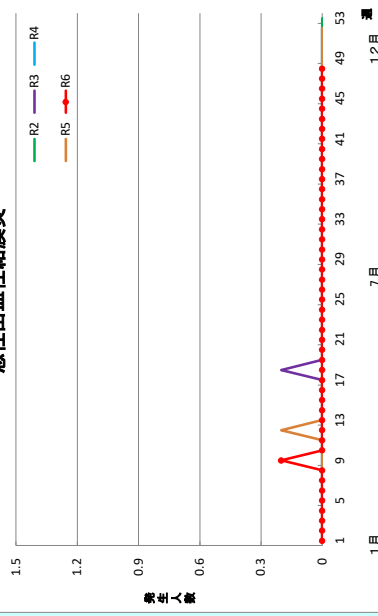


細菌性髄膜炎

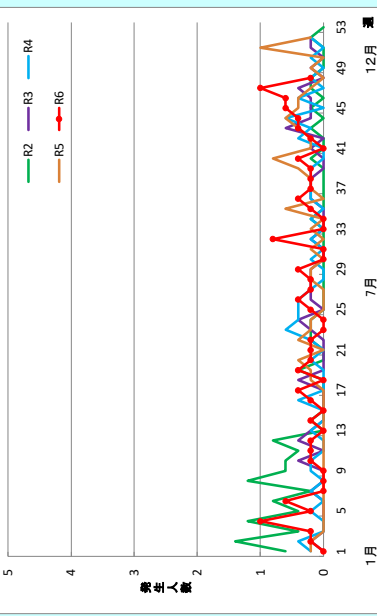


年次別発生状況グラフ(定数当たり)

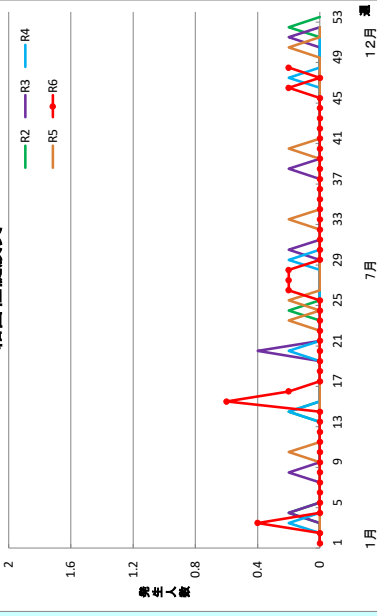
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

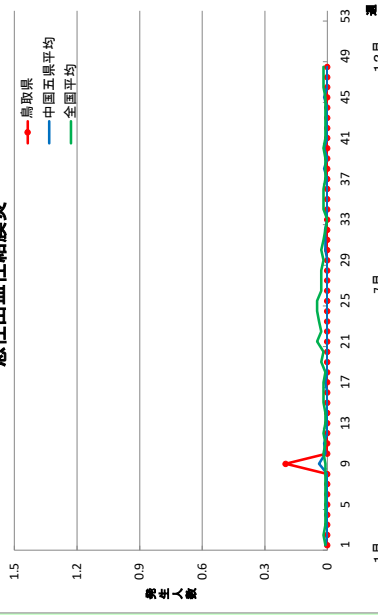


細菌性髄膜炎

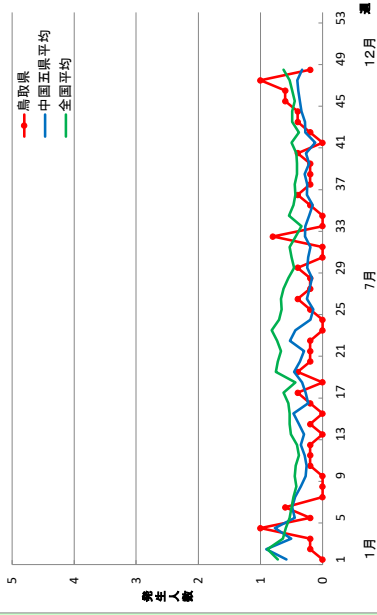


中国五県平均・全国平均との比較(定数当たり)

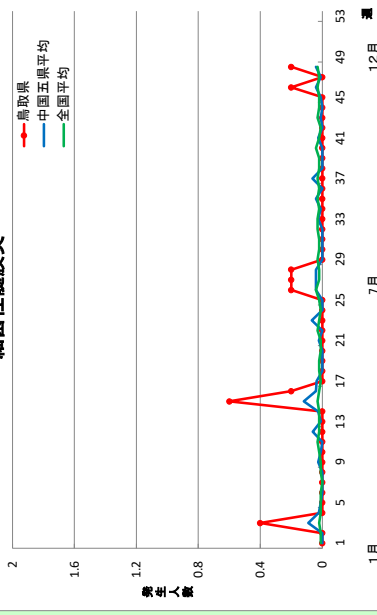
急性出血性結膜炎



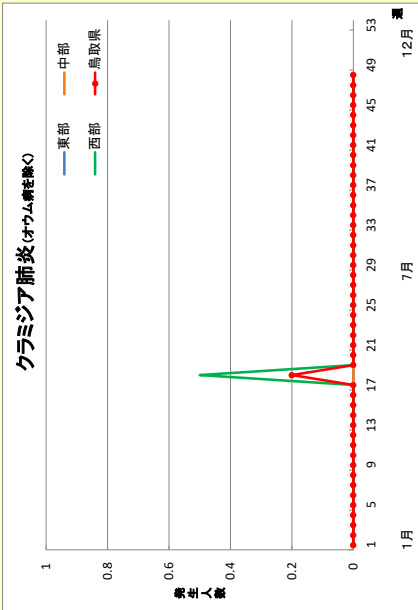
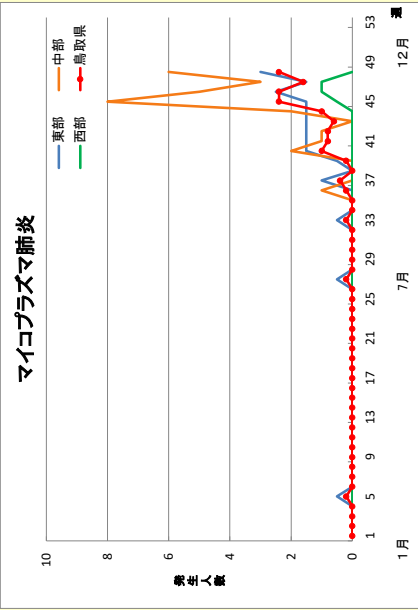
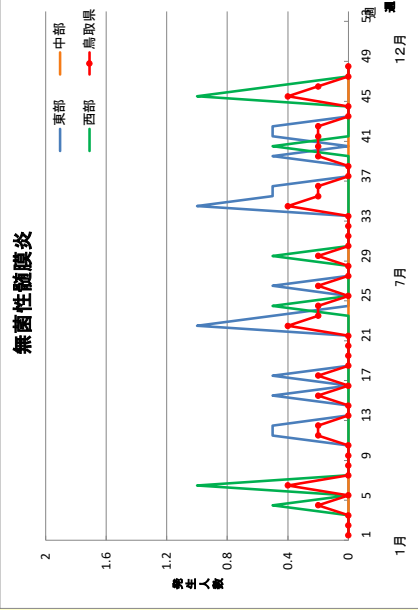
流行性角結膜炎



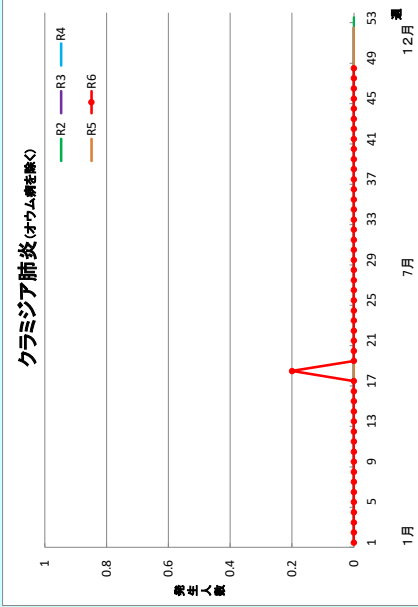
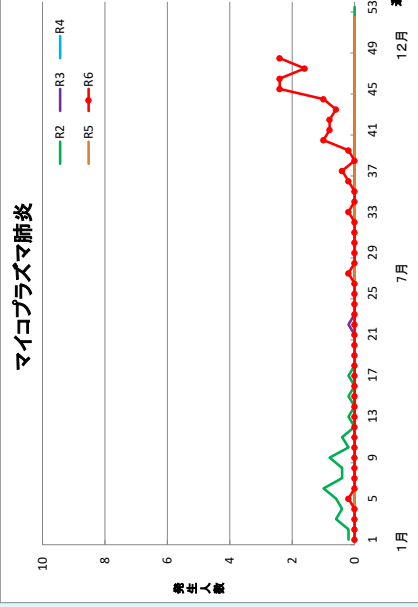
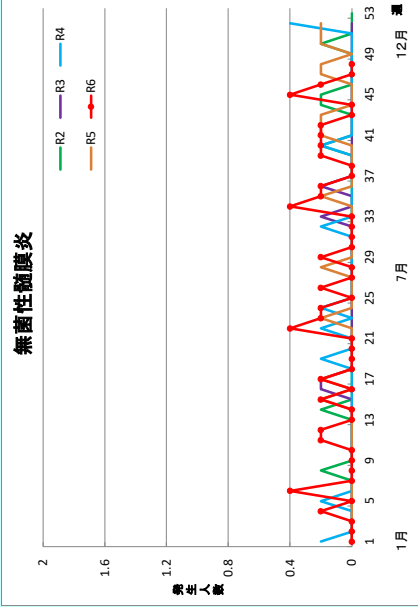
細菌性髄膜炎



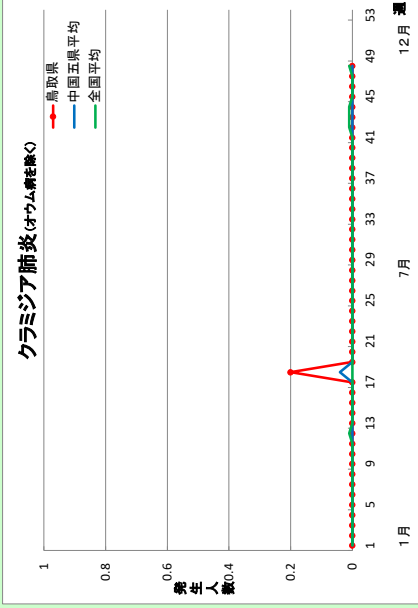
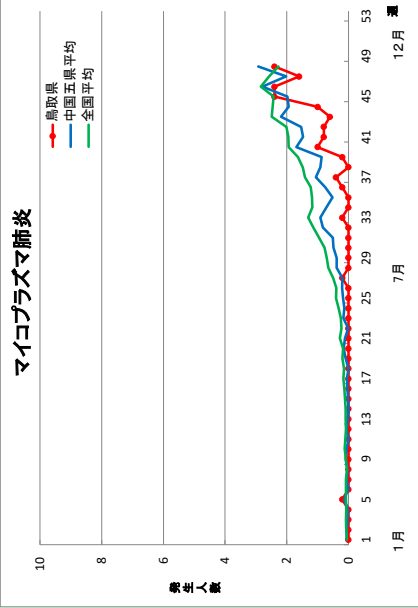
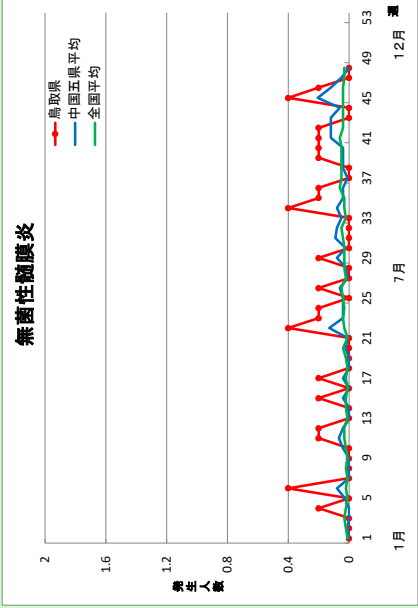
地区発生状況グラフ(定点当たり)



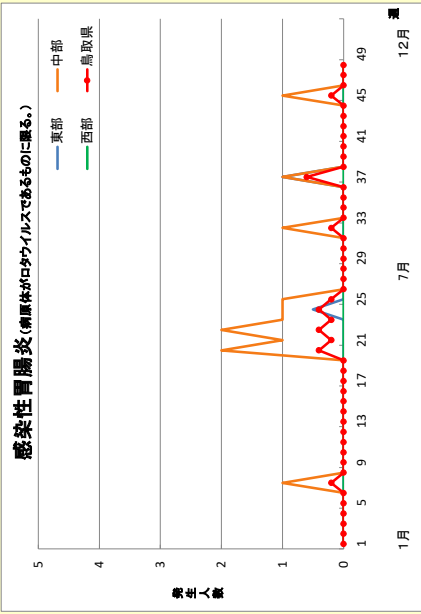
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



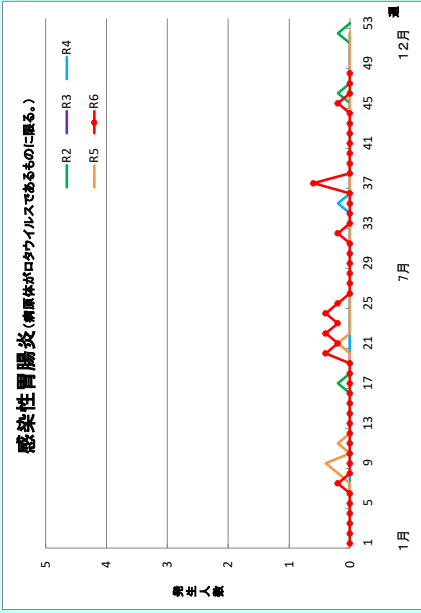
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



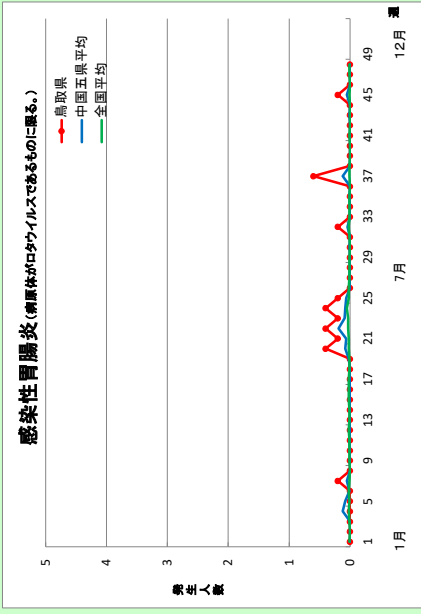
地区発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)



中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



注) 新型コロナウイルス感染症は、令和5年第16週(5/1～5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。